



2018年3月期決算説明会

サンコーテクノ株式会社
(証券コード：3435)

2018年5月25日

1

2018年3月期実績は増収・増益

- ・土木・インフラ設備関連工事増により売上は計画達成
- ・利益面においては原材料等の価格上昇の影響を受ける

2

2019年3月期計画

- ・都市圏の再開発やオリンピック関連の案件増が後押し
- ・原材料、運送費等の上昇へは適切に対応

3

中期経営ビジョン・中期戦略への取組み

- ・安定成長基盤の構築に向け営業改革を引き続き強力に推進
- ・研究開発部門再編により製品開発のスピード化

- 2018年3月期実績報告
- 2019年3月期計画
- 中期経営ビジョン・中期戦略への取組み

売上高5.3%増収・営業利益3.1%増益

(百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	前年同期比	
売上高	15,497	16,326	+829	+5.3%
営業利益	1,124	1,159	+35	+3.1%
同利益率	7.3%	7.1%	△ 0.2 p	—
経常利益	1,119	1,162	+43	+3.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	790	796	+6	+0.7%

□ 3期ぶりの増収増益

□ 売上高は計画値16,300百万円を超過

□ 主力事業の金属系アンカー販売が堅調に推移

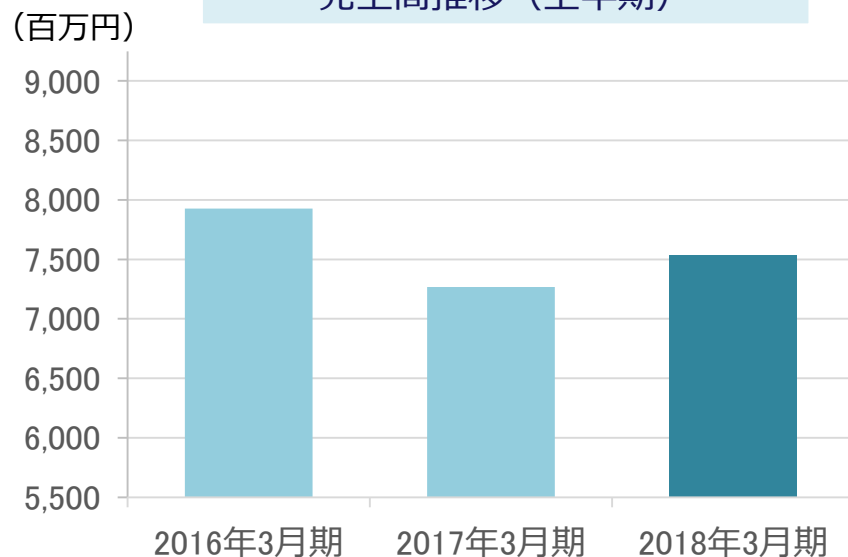
□ 工事売上高は、大型物件の受注等により増加

2018年3月期 実績（上半期・下半期別）

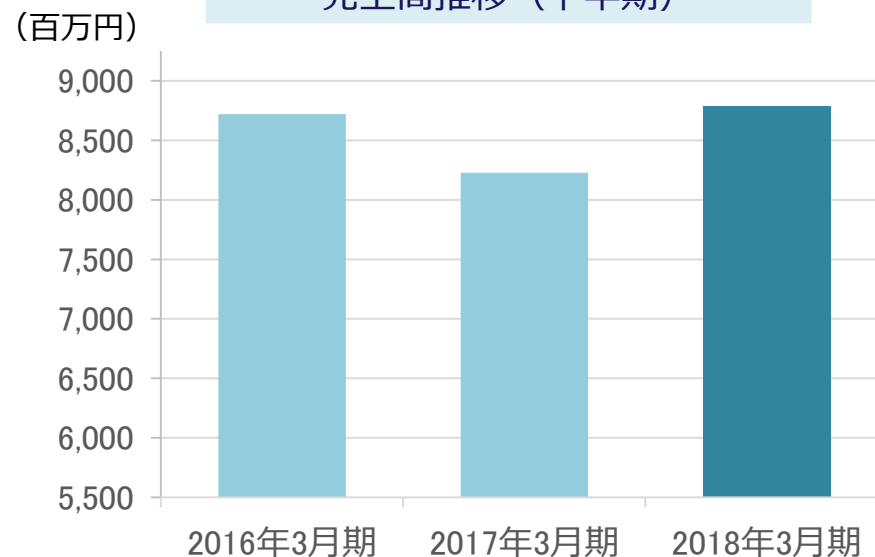


下半期 前年同期比は+6.8%に上昇

売上高推移（上半期）



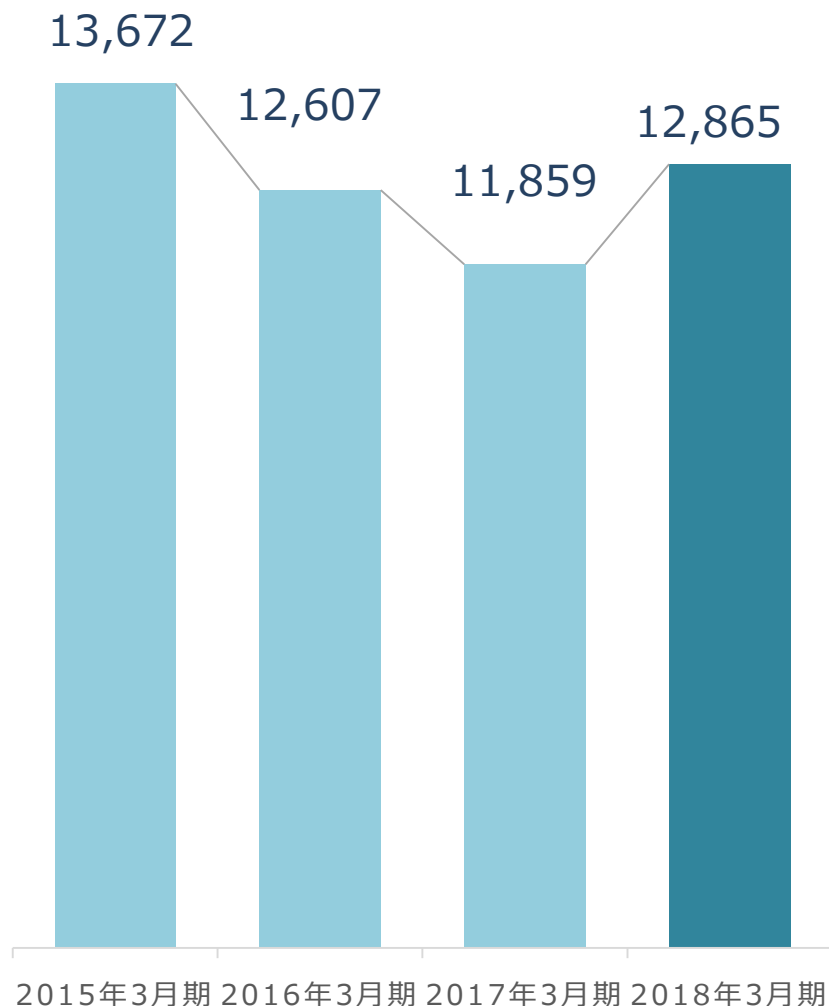
売上高推移（下半期）



	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期 上半期	2018年3月期 下半期
	上半期	下半期	上半期	下半期	前年同期比	前年同期比
売上高	7,926	8,721	7,268	8,229	7,534 +3.7%	8,792 +6.8%
営業利益	540	799	427	698	422 △1.2%	737 +5.6%
同利益率	6.8%	9.2%	5.9%	8.5%	5.6% △ 0.3 p	8.4% △ 0.1 p
親会社株主に帰属する 四半期純利益	329	481	253	539	265 +4.7%	531 △1.5%

売上高推移

（百万円）

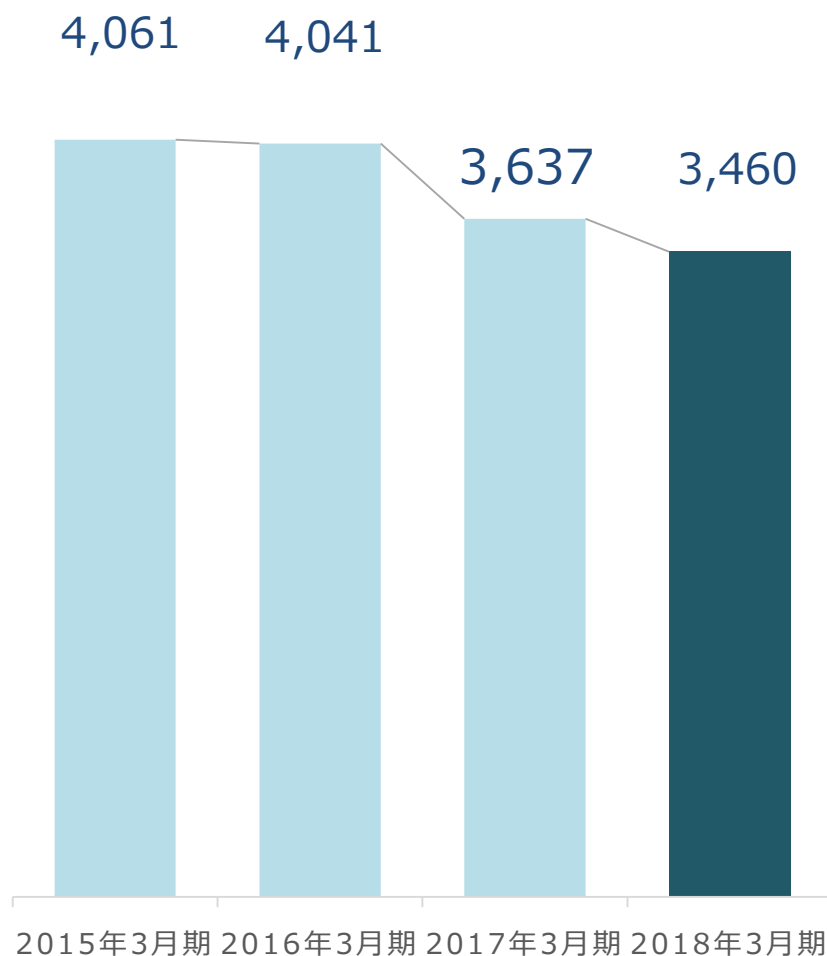


	実績(百万円)	前年比
売上高	12,865	+8.5%
セグメント利益	1,674	+8.3%

- 金属系あと施工アンカー
各種設備工事等の需要が回復し、
前年同期比売上増
- 接着系あと施工アンカー
耐震工事等の減少により低迷も底入れ
- 各種工事関連
土木関連を中心に完成工事高が大幅増

売上高推移

（百万円）



	実績(百万円)	前年比
売上高	3,460	▲4.9%
セグメント利益	412	▲7.3%

■ アルコール検知器関連

鉄道・バス会社へ複数の導入実績
前年比2桁増と好調

■ 電動油圧工具関連

国内販売が低調に推移
2018年2月新発売製品の販売は出足好調

■ FRPシート関連

事業の再編により二重床・防水樹脂の
販売終了

国土交通省・新技術情報提供システム 「NETIS」への登録

■引張試験器

テクノテスターAT/RTシリーズ (2017年4月 登録)
引張荷重の一体型試験測定システムとして登録



■歩道橋補修システム用 e-シート Tシリーズ (2018年1月 登録)

紫外線硬化型FRPシートによる歩道橋等の鋼板部補修工法として登録



注目新製品

■(株)IKK 鉄筋カッター DCC-16368LH (2018年2月 発売)

コンパクトサイズで軽量化
16mmの鉄筋を約2.4秒で切断
IKK史上最速



製造設備が中心 拡大が見込まれる札幌支店へも投資

- 7段パーツフォーマー（野田工場）
/90百万円



- 新ものづくりテクニカルセンター
（流山市） 5月オープン



- 自動スリフリ機（奈良工場）/27百万円



- 新札幌支店（札幌市白石区）

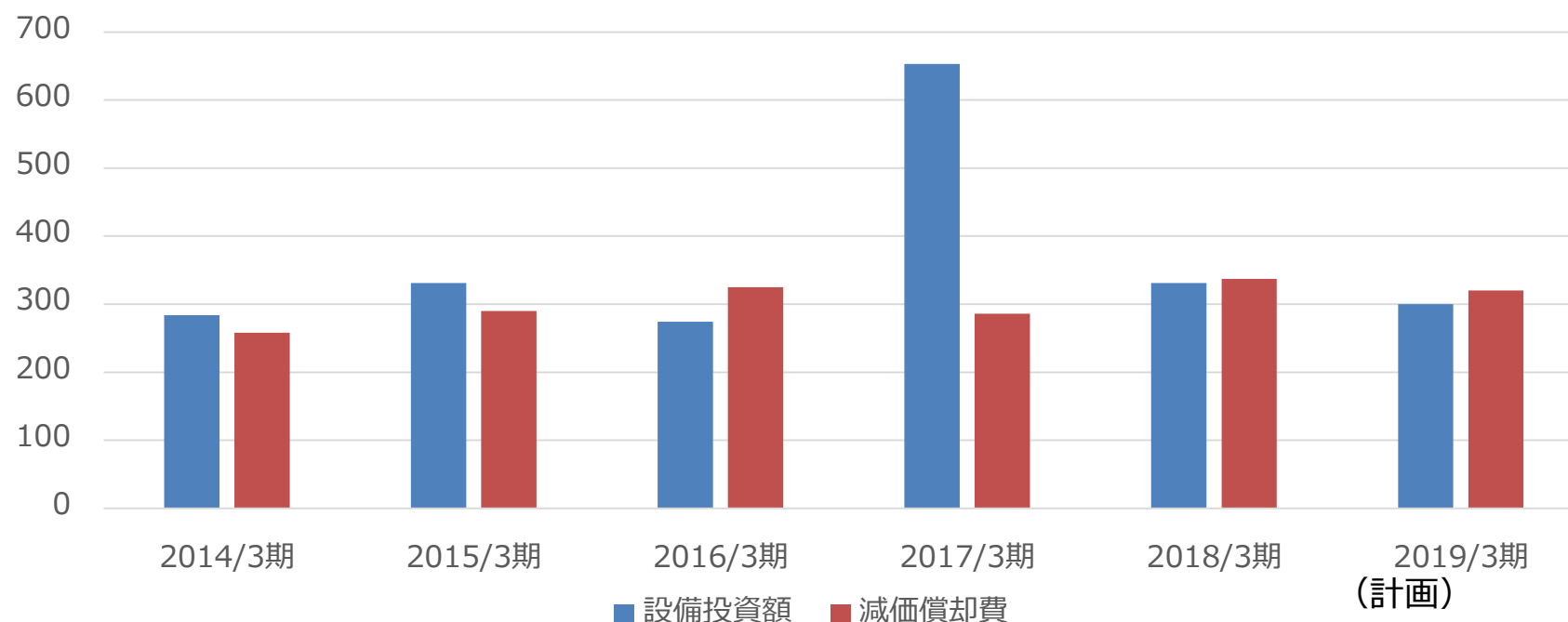


設備投資額・減価償却費について



(百万円)

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
設備投資額	284	331	274	653	331	300
減価償却費	258	290	325	286	337	340



**年間300百万円を目安とし、
安定成長基盤構築の観点から、有効な投資は積極的に行う**

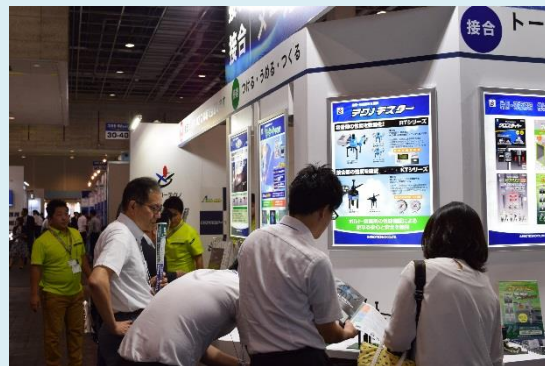
用途開発・新事業展開を視野に入れ5種の展示会に出展

4月・9月

■接着・接合EXPO
(東京)



(関西)



11月

■ハイウェイテクノフェア



11月

■鉄道技術展



11月

■鉄筋EXPO (株)IKKによる出展)



1月

■彩の国ビジネスアリーナ
(株)スイコーとの共同出展)



- 2018年3月期実績報告
- 2019年3月期計画
- 中期経営ビジョン・中期戦略への取組み

(前年比)

売上高	16,800百万円	(+2.9%)
-----	------------------	----------------

営業利益	1,200百万円	(+3.5%)
------	-----------------	----------------

経常利益	1,210百万円	(+4.1%)
------	-----------------	----------------

親会社株主に帰属する 当期純利益	835百万円	(+4.8%)
---------------------	---------------	----------------



プラス要因

- ✓ 民間・公共設備投資は堅調に推移
- ✓ インフラ補修・保全の増加
- ✓ 2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業の活発化



マイナス要因

- ✓ 耐震工事は2020年以降へ先延ばし
- ✓ 慢性的な技能労働者の人手不足による建築着工量の伸び悩み
- ✓ 資材価格の上昇や物流コスト増による影響

当社の見通し・対抗措置

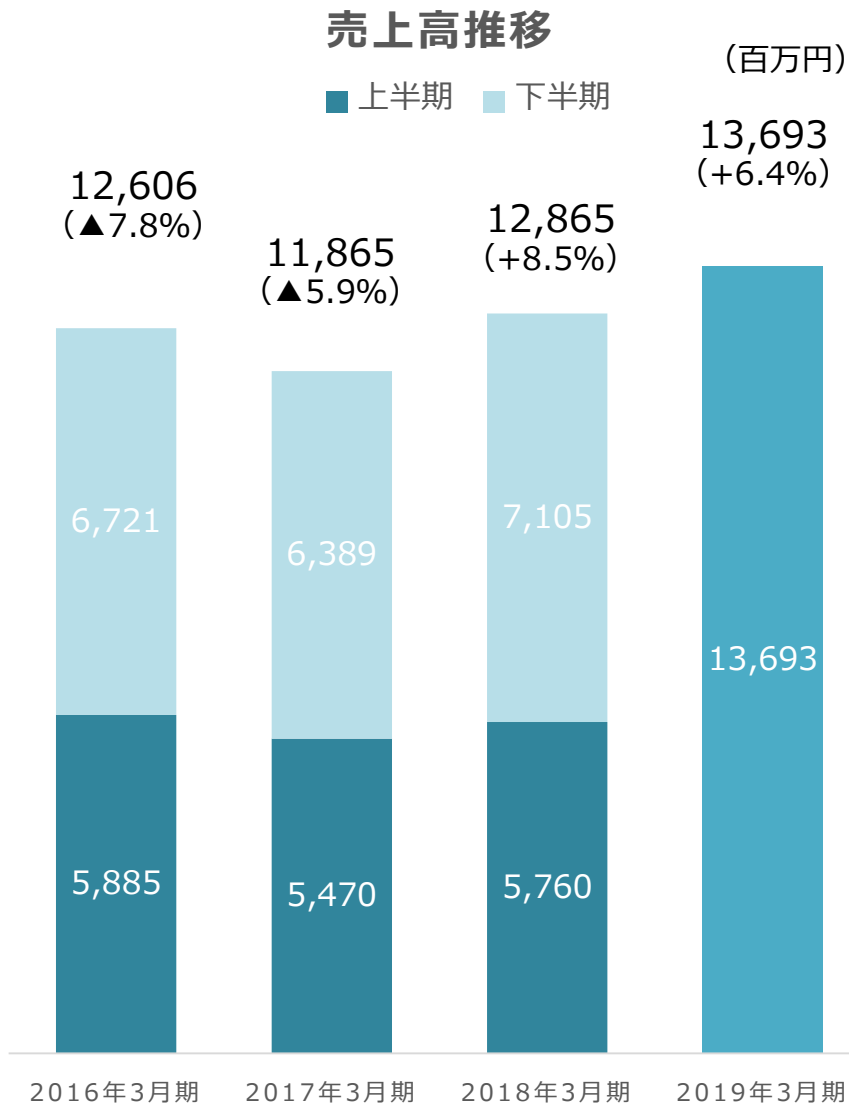
現場営業を強力に推進し
スペック受注につなげる

2020年以降の環境変化を
先取りした中長期的な事業展開を進める

施工性に優れた製品開発

原価低減努力・製造コストの見直し等により
利益確保

2019年3月期目標：13,693百万円



■ 金属系アンカー



- ・ インフラ設備・オリンピック関連需要は活発化
- ・ 土木向け注力製品
メタルセーフアンカー
メタルロック

■ 接着系アンカー



- ・ 耐震工事は今期は低調
- ・ 土木・インフラ工事向けに、無機系製品の販売に注力

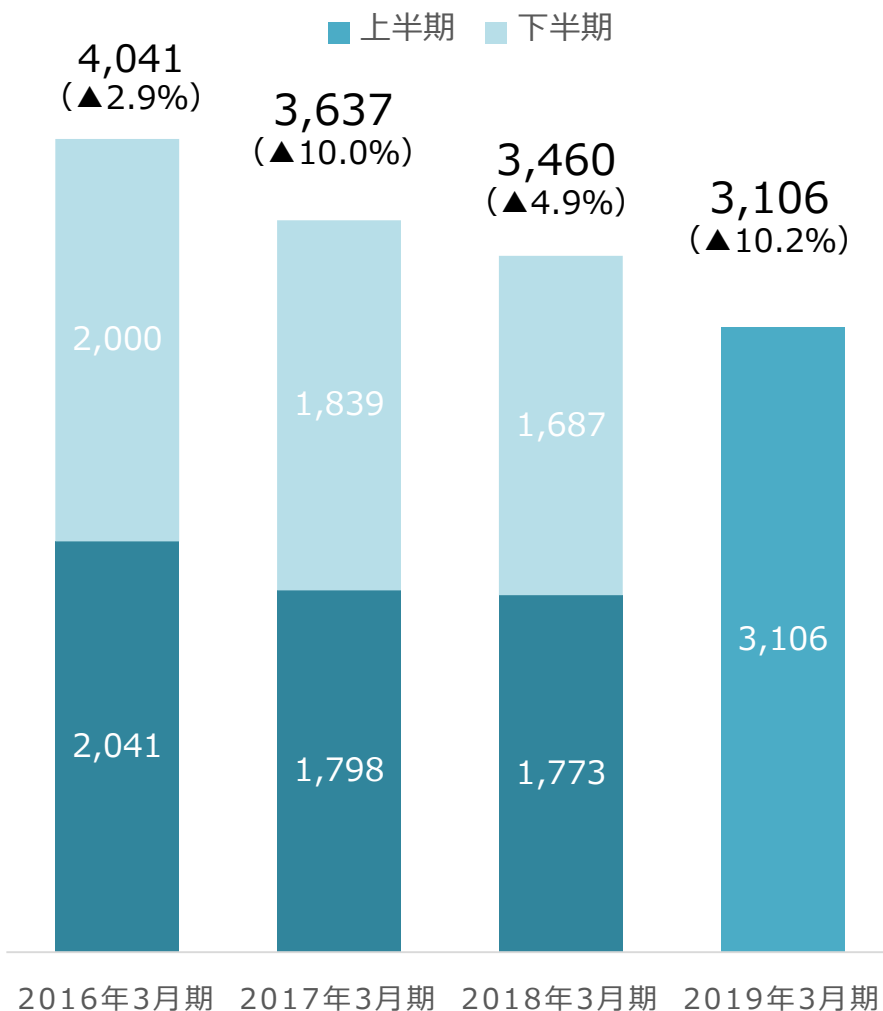
■ 各種工事関連



- ・ 土木・保全補修工事案件を中心に、2020年以降の案件も含め、中長期の視点で物件を確保

2019年3月期目標：3,106百万円

売上高推移



■ アルコール検知器関連



鉄道・バス等の公共交通機関への新規導入

■ 電動油圧工具



ブラシレスコードレス鉄筋カッター（DCC-1636BLH）他、新機種投入による国内販売の強化

■ FRPシート



- ・ 新規顧客による販路拡大
- ・ 新たな用途拡大

2019年3月期売上は減少予想だが、製品の事業移管・販売終了が理由

■ 外壁補修商材 アンカーピン等



→販売シナジーを目指し、

2019年3月期より**ファスニング事業へ移管**

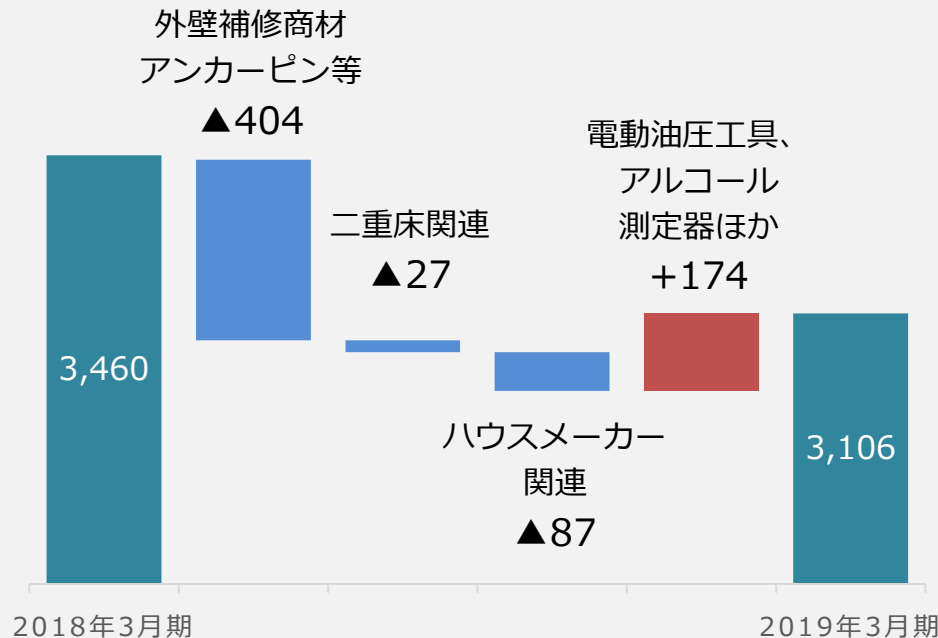
■ 二重床関連、ハウスメーカー関連

→成長製品にリソース集中のため、

2018年3月期において**販売終了**

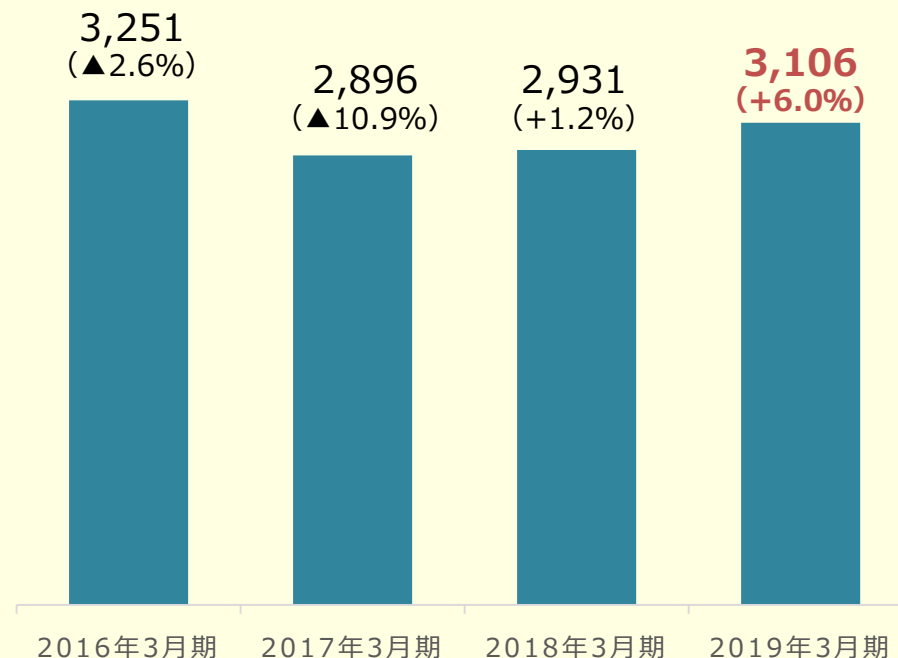
売上増減の主な内訳
(2018年3月期実績→2019年3月期予想)

(百万円)

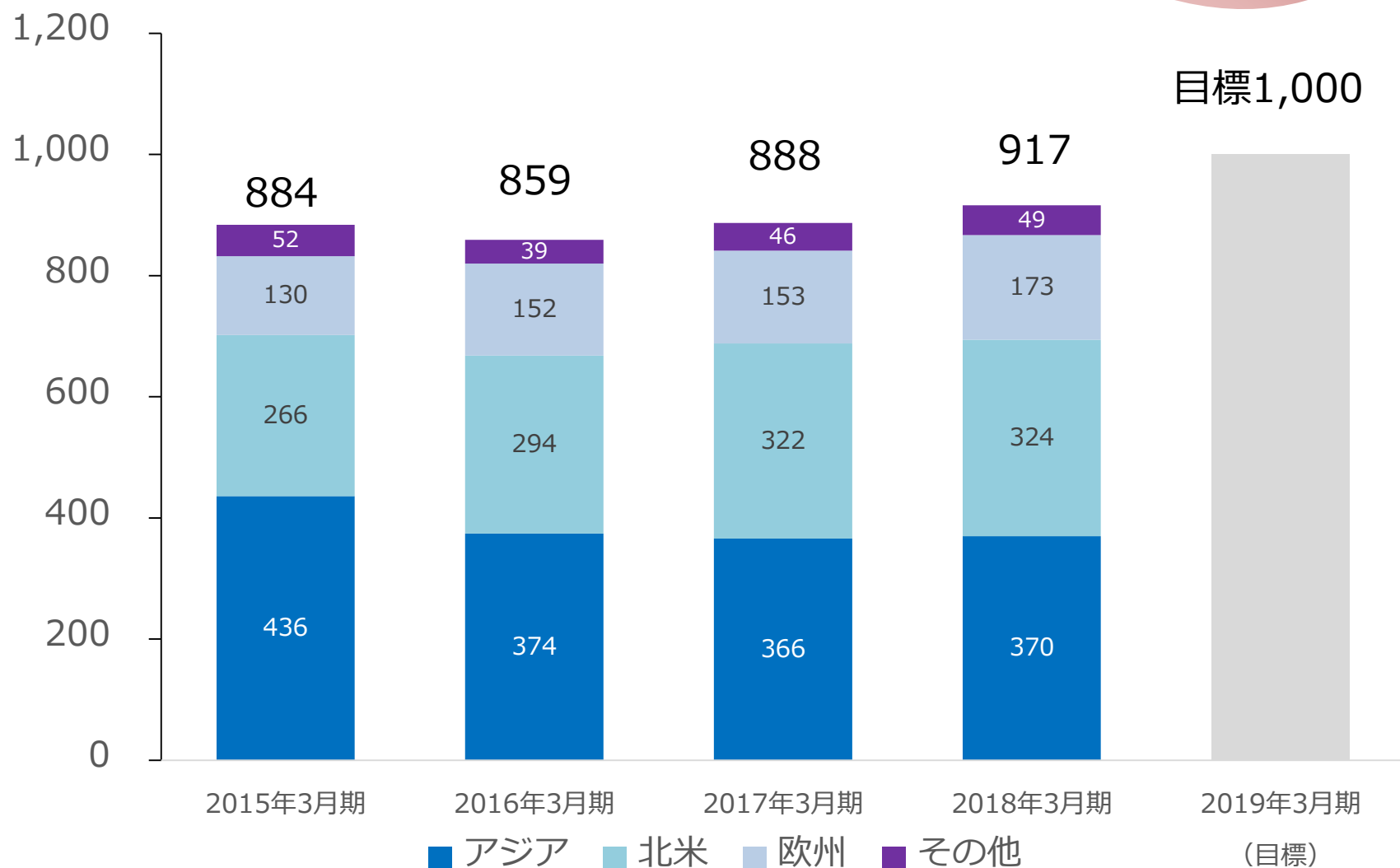


外壁補修商材 アンカーピン等、二重床関連、ハウスメーカー関連を除いた場合の売上推移

(百万円)



▶ 2019年3月期目標：1,000百万円



- 2018年3月期実績報告
- 2019年3月期計画
- 中期経営ビジョン・中期戦略への取組み

Go for NEXT

S.T.G VISION 2020

私たちは ^{ファスニング} 独自の締結システムで、安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

3つの“力”（パワー）をアップ



2015年4月～

2015年3月期業績

売上高 : 17,835百万円
営業利益 : 1,511百万円
(売上高営業利益率 : 8.5%)

2020年までに、
外部環境に左右されず
安定成長を実現する
基盤・体制を構築

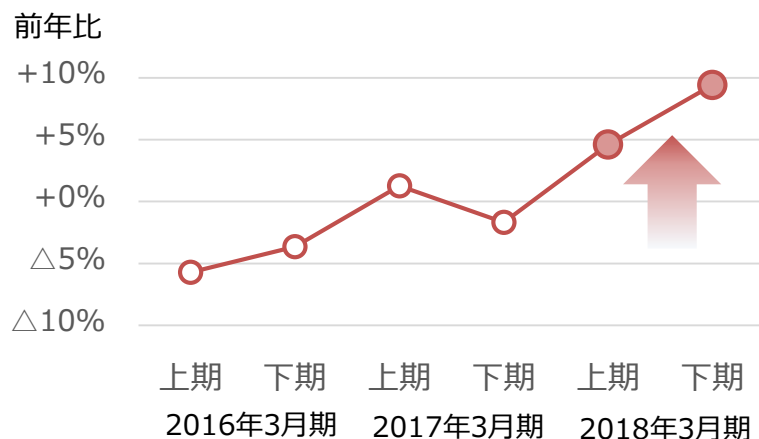
中長期目標

平均売上高成長率 : 5%

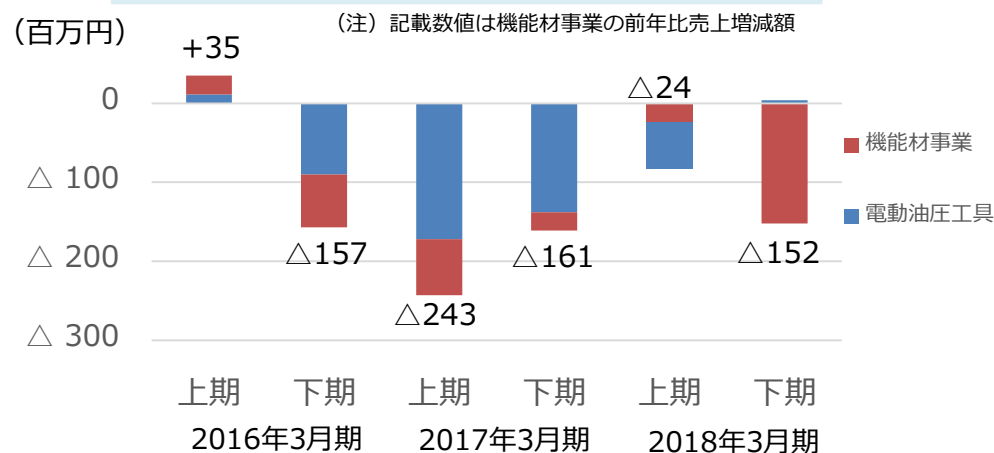
売上高営業利益率 : 8%

中長期目標である前年比5%超の売上成長を達成 →あと施工アンカー(金属系)、工事部門が牽引

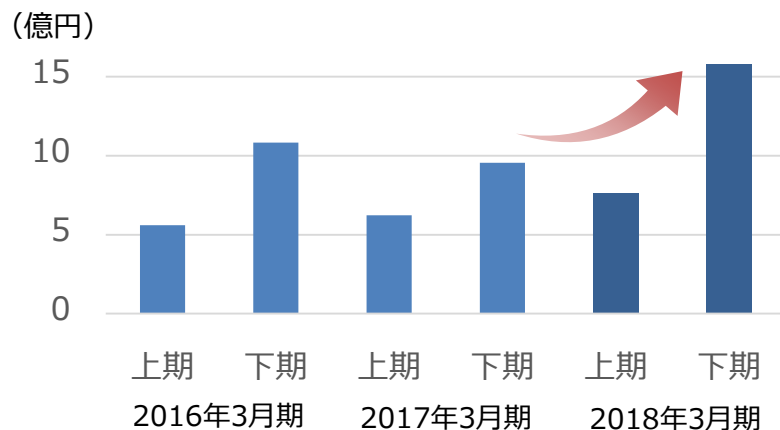
金属系あと施工アンカー 売上高増減率



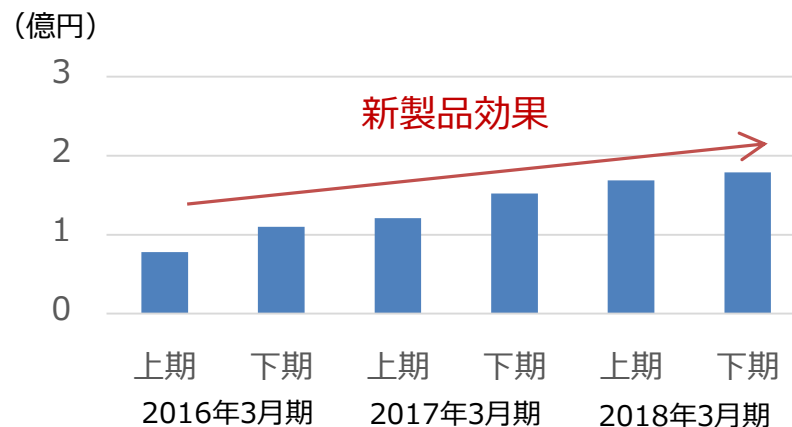
機能材事業/電動油圧工具 売上増減額



工事部門 完成工事高推移

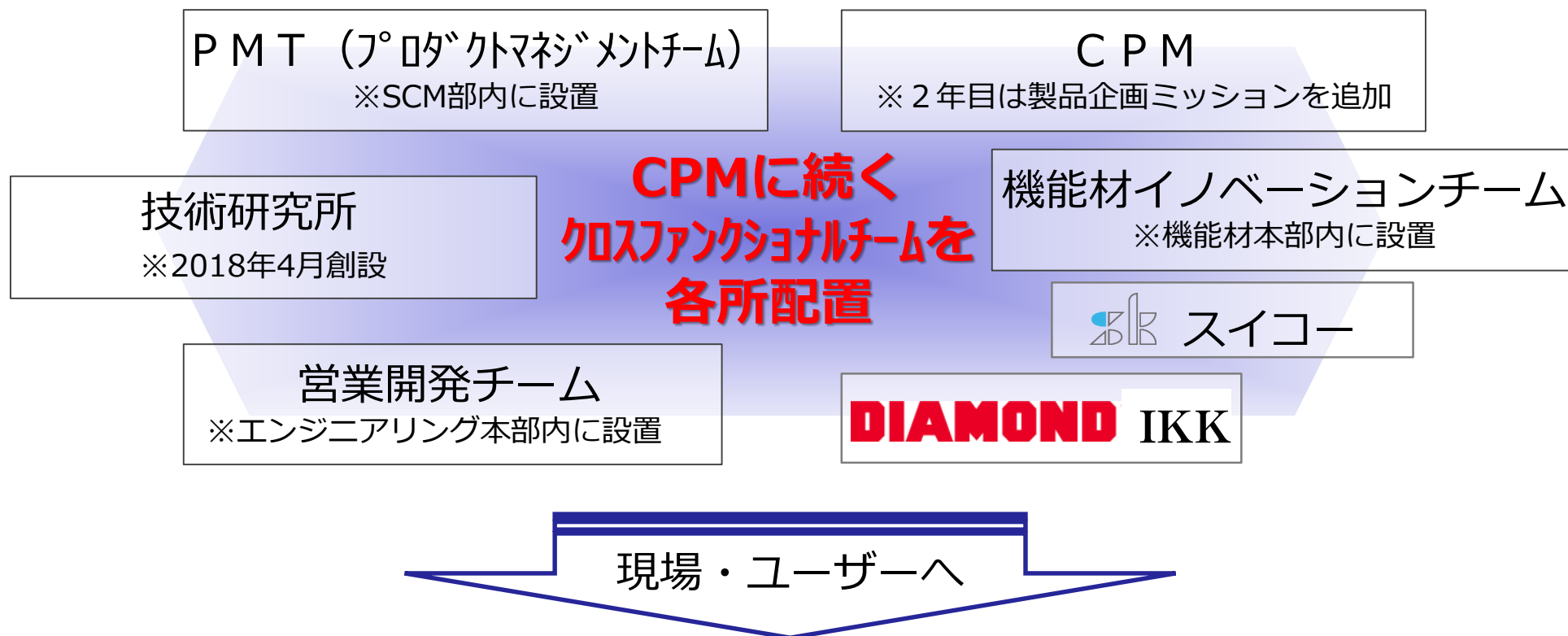


アルコール検知器関連 売上高推移





クロスプロジェクトマネジメント体制の強化



①ブランド力

・トータルシステム

②インフラ・土木の割合

・トンネル・道路・鉄道・上下水道

③スピード

・市場ニーズ⇒製品開発
・新製品投入・普及拡大

**3つの“アップ”
を加速**

① 2020年以降を見据え、次なるヒット製品を生み出す

技術研究所の創設（2018/4）

- ・ 絞り込んだ中長期課題に集中的に取り組む専門家集団
- ・ あえて短期的な改良開発と切り離し、3~5年先の製品開発に打ち込む

② PR・市場開拓 ⇒ 開発（短期）⇒ 上市 の流れ再強化

営業改革：セールスエンジニアの倍増

特需・川上・川下営業 + 製品企画ミッション

（新製品・新工法・新商材・改良開発）

- ・ 各本部にクロスファンクショナルチームを配備

電動油圧工具

1,856百万円※

- ・海外展開加速
- ・新製品の投入
- ・シナジー追究

Alc検知器関連

378百万円※

- ・鉄道・バス業界へ展開
- ・メンテナンス等、
収益モデルの再構築
- ・商品ラインナップ拡充
- ・シナジー追究
(IoT分野への参画)
- ・市場創出

電子基板関連

391百万円※

FRPシート関連

306百万円※

- ・地下タンク特需対応
- ・施工性・環境面の訴求
- ・「環境」「人に優しい」を追究
- ・市場創出

3つのキーワードで
次なる「柱」をつくる

安全

安心

環境

+ 機能材イノベーションチーム
※機能材本部内に設置

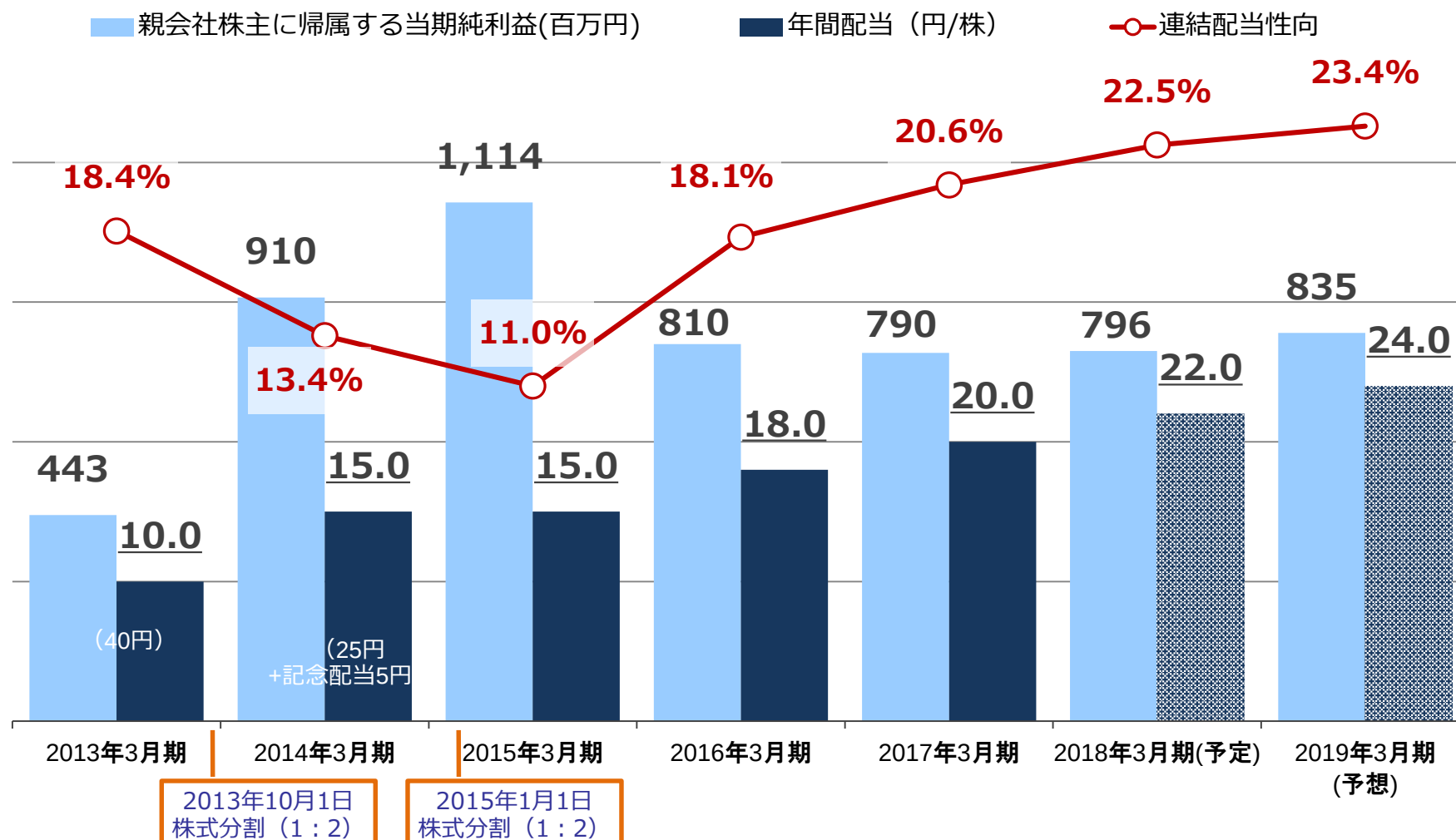
機能材事業を 50億円の事業へ

※2018/3期売上実績（事業移管・販売終了を除く）

株主還元 2018年3月期1株当たり年間配当



期初予想通り、2円増配の22円とする



※2013年10月1日、2015年1月1日を効力発生日として、それぞれ1 : 2の株式分割を実施。そのため、2014年3月期以前の配当状況はこれらの分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合の金額を記載。なお、配当実績は()書きで記載

ご清聴ありがとうございました。

サンコーテクノ株式会社

参考資料

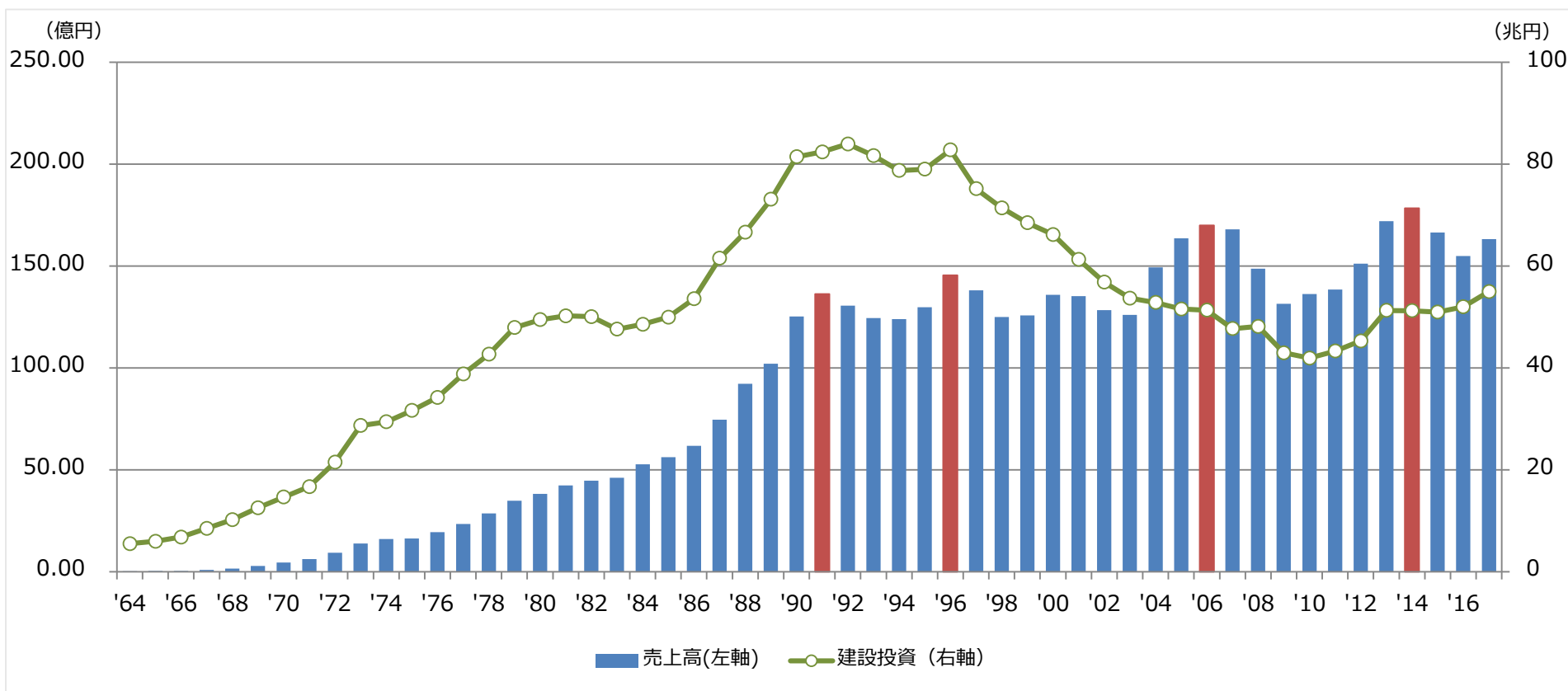
社名	サンコーテクノ株式会社(銘柄コード3435)
代表者	洞下 英人 (ほらげ ひでと)
本社所在地	千葉県流山市南流山3-10-16
社員数	連結559名 単体301名(2018年3月31日現在)
資本金	768百万円
国内拠点	全国20拠点
子会社数	6社(海外3社含む)
設立	1964年5月
市場	東証第二部：2015年5月 (JASDAQ：2005年6月)
主要取扱品目	■あと施工アンカーを中心とした建設用ファスニング製品 ■油圧工具および各種電動工具・試験機 ■耐震補強・太陽光関連商材・FRP関連商材 ■各種測定器および電子基板関連

当社成長の軌跡



- ・1964年 三幸商事設立
- ・1965年 オールアンカー開発・実用新案登録
- ・1966年 三幸工業設立
- ・1988年 SANKO FASTEMTHAILAND) .LTD (タイ工場)
- ・1988年 三幸商事顧問股份有限公司 (台湾) 設立

- ・1993年 西部物流センター開設
- ・1996年 三幸商事・三幸工業合併によりサンコーテクノ誕生
- ・1998年 中央物流センター開設
- ・2002年 ものづくりテクニカルセンター開設
- ・2003年 (株)スイコー子会社化
- ・2004年 (株)I K K子会社化



フェーズ①成長への始動
・国内拠点の拡充
(全国販売網の確立)

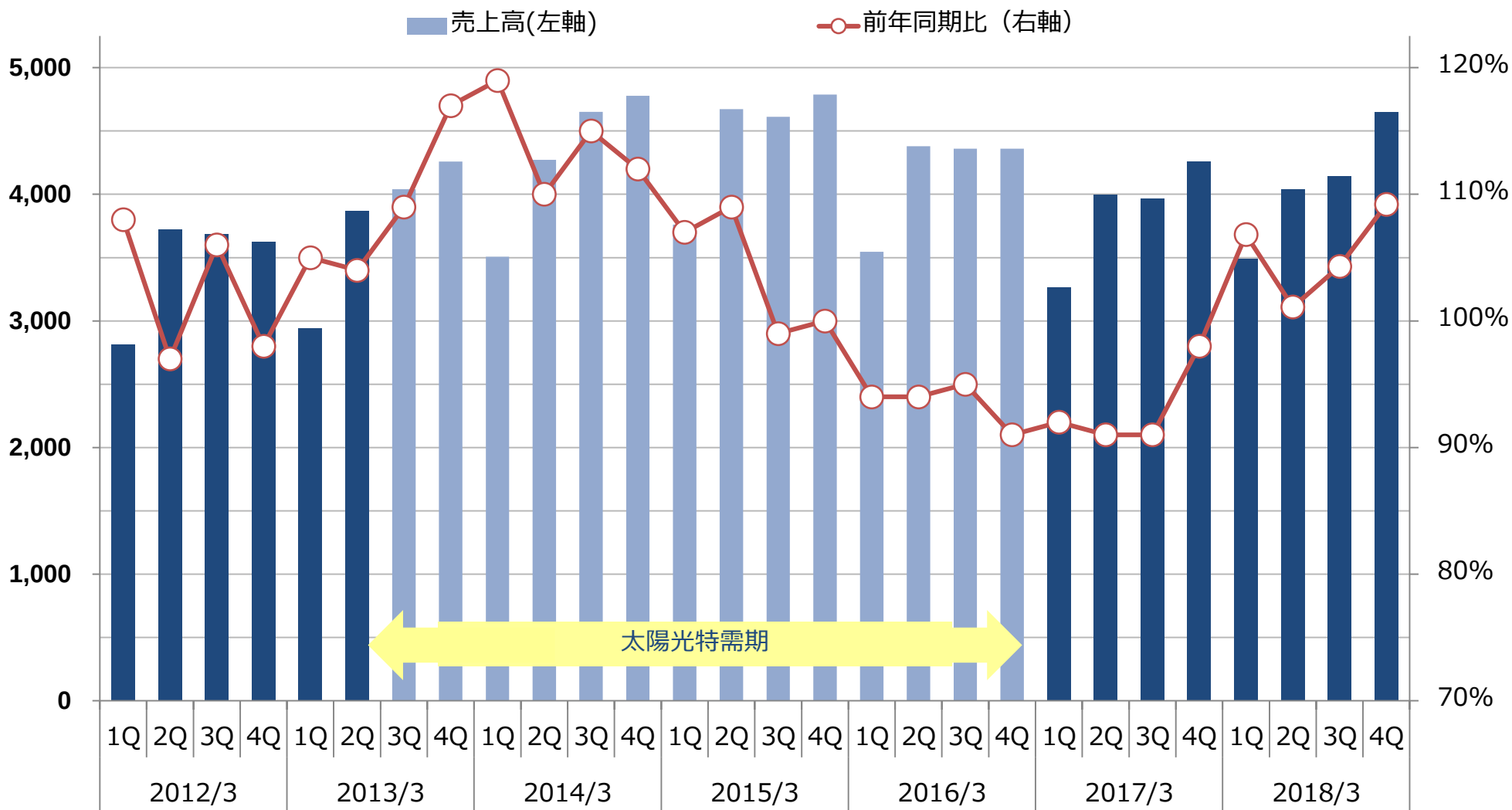
フェーズ②転換期
・製造と物流拠点の再構築
・工事部門の設立

フェーズ③持続的成長へ
産学連携の開発体制の構築

四半期別 売上高推移【連結】



(百万円)



事業セグメント構成（2018年3月期実績）



ファスニング事業

あと施工アンカー・ドリル
ビットの開発・製造・販売



土木建築関連
（耐震工事）・太陽光関連
の工事管理等

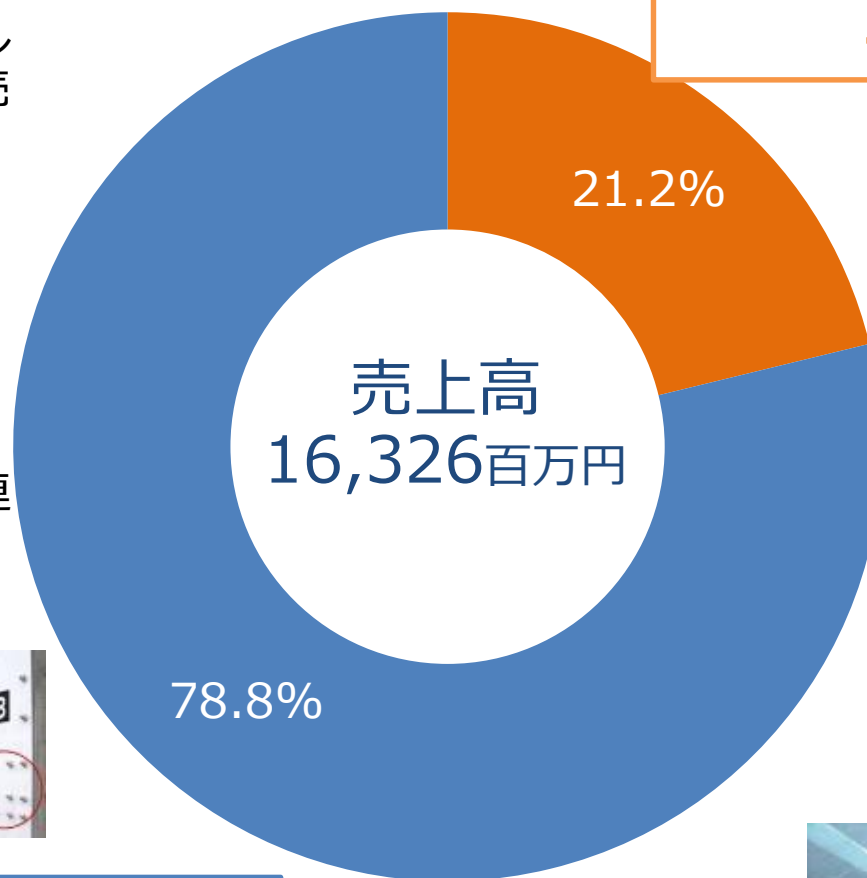


2018年3月期
セグメント売上高
12,865百万円

2018年3月期
セグメント売上高
3,460百万円

機能材事業

電動油圧工具関連、FRP
シート関連および車両の表
示板等の電子プリント基板
や各種測定器の製造・販売



売上高
16,326百万円

あと施工アンカーの大分類



あと施工アンカー

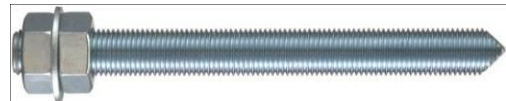
接着系アンカー



カプセル方式 回転打撃型



カプセル方式 打込み型



施工用ボルト



注入方式

金属系アンカー



芯棒打込み式



内部コーン打込み式



本体打込み式



スリーブ打込み式



ウェッジ式

その他のアンカー類



ねじ固定式



ねじ込み式



はさみ固定式

「あと施工アンカー」施工例



標識・看板取付



自販機取付



手摺取付



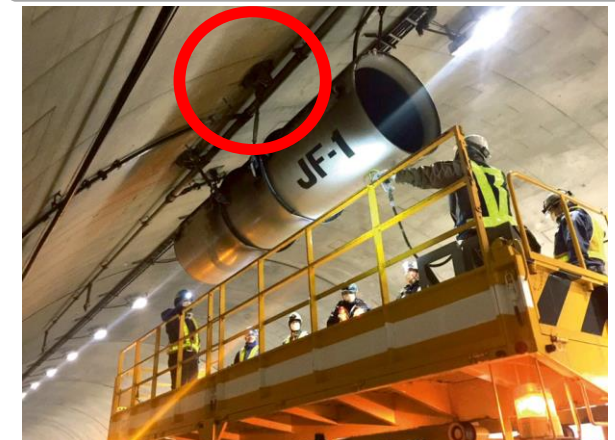
ベンチ取付



ガードレール支柱取付



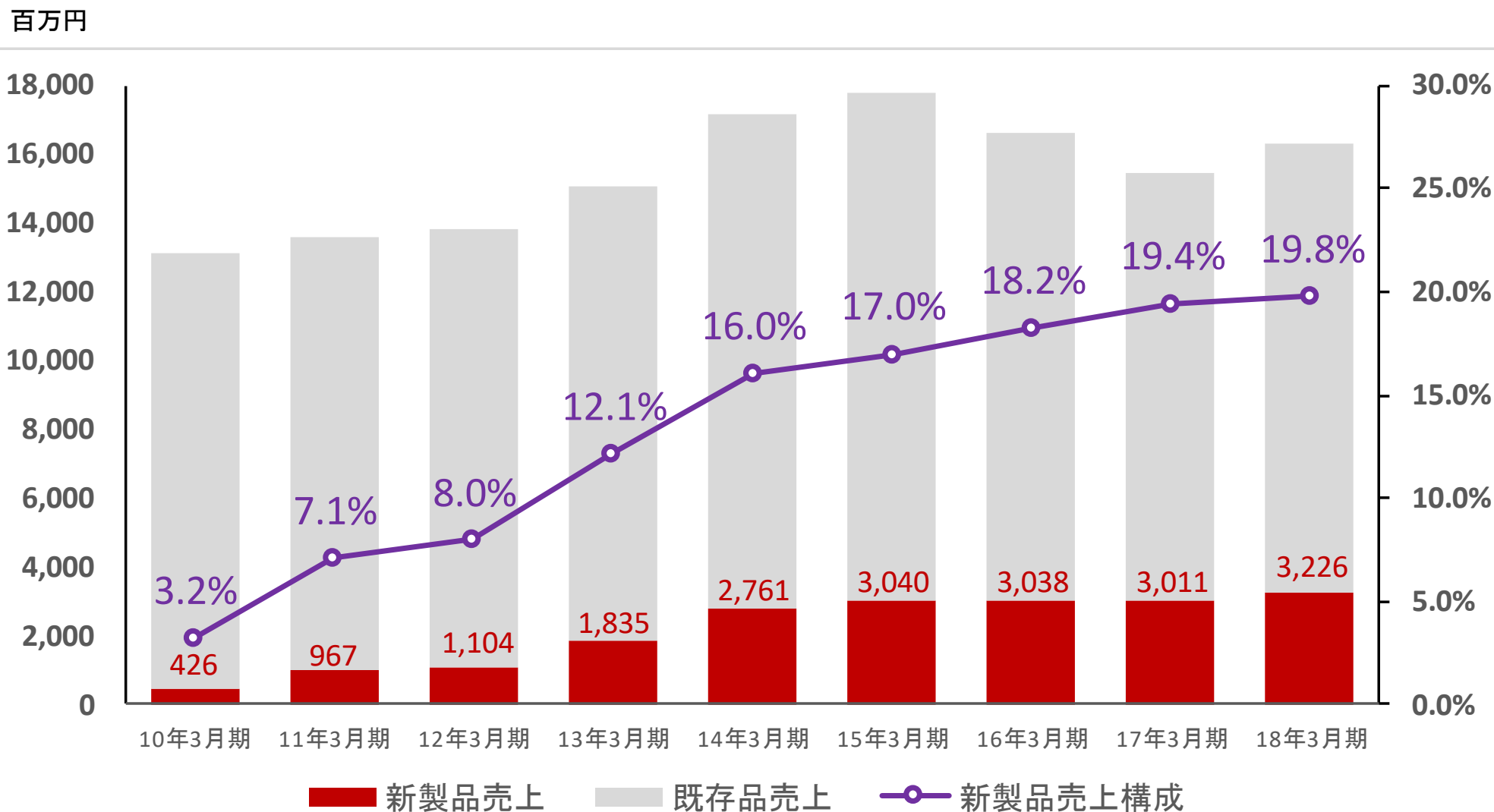
ジェットファン取付



新製品売上高の推移



金属系あと施工アンカーを中心とした既存製品の販売が増加
新製品の売り上げ比率は微増



- 本資料はサンコーテクノ株式会社の事業及び業界動向についてのサンコーテクノ株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、公表日現在において利用可能な情報に基づいてサンコーテクノ株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

サンコーテクノ株式会社